

令和4年 第1回府中市環境保全活動センター検討調整会 議事録

■日 時：令和4年4月28日（木）午前10時～11時20分

■場 所：本庁東庁舎8階 会議室A

■出 席：（敬称略）

（委 員）（7名）室 英治、塚原 仁、増山 弘子、表 伸一郎、小西 信生、
成瀬 こずえ、石川 伊智郎

（事務局）（3名）田口 敦、谷口 謙太、塚原 二郎

■欠 席：（敬称略）

（委 員）（3名）山田 義夫、吉武 考三郎、森嶋 正行

■議 事

1 新任委員について

令和4年度から新たに吉武 考三郎さん、森嶋 正行さんの2名の方に参加していただくことになりました。ただ、委員の決定が直前のことであったため、本日は日程の調整がつかず欠席となっています。

2 報告

① 令和3年度第6回検討調整会議事録

事業一覧にある市民環境セミナーというのは以前の東芝セミナーになるのか。市民環境セミナーは以前に特別公開講演会としていた活動センターの事業です。ちなみに東芝セミナーは2019年を最後に終了している。ほか質問などなく了承。

② 桜まつり、森キッズDAYin武蔵台公園の開催結果

桜まつりでは、検討調整会委員、サポーター、市民団体の方々にもお手伝いをいただいた。お礼を申し上げます。なお、活動センターのブースにはおおよそ150人が来られた。日曜日はあいにくの雨模様となっしまいブースは午後で撤収した。ただ、桜まつり全体も早めに終了したようである。内容としてはチラシ・パンフレットの配布、ビデオの再生を行ったが、好評であった。

森キッズは、広報のほかに直前のメール配信で募集を行った。当日の時間前には十数名の親子が並ぶ盛況ぶりで、最終的には34組の親子の参加があった。内容としては最初に武蔵台公園・緑地の散策を全員で行い武蔵台の豊かな自然を知ってもらい、その帰り道では葉っぱプリント用の葉っぱを採取しながら会場に戻った。会場では、葉っぱプリント、ドングリ工作、缶バッチの3つのプログラムを用意していたが、ほとんどの親子が時間まで3つの体験し、大変好評であった。今回、メール配信をしたがこれまでに比べ参加者が明らかに増えていることから、今後もメール配信を活用していきたい。

③ その他 なし

3 議事

① 令和4年度 府中かんきょう塾2022の内容確認

・府中かんきょう塾2022

今年度の府中かんきょう塾の受付は締め切っている。申込者は11名で定員の30名には至っていないため、サポーターなどに声をかけ追加募集を行っている。連休明けにはメール配信を行う予定である。このメール配信は第1回の募集だけである。9月までの講座についてはほぼ決まり、今は10月の講座について杉村サポーターと講師の方と打ち合わせることで進めている。11月のJICA関係者の話については表委員から話を進めていただいている。なお、今回、中学1年生からの応募があった。また、明星学苑、外語大の生徒・学生についてもどこかの回に参加してもらい、来年に向けて若い人たちによるプログラムを実施できたらと考えている。外語大の学生は今年の後半から海外留学があるので、早めに予定を伝えた方がよい。現在は参加人数が少ないが、各回にメール配信等で追加募集を行いたい。中学生に友達を連れてきてもらうように話してみてもどうか。現在11名の参加者ということであるがグループ活動をするには1グループしかできない。第1回の藤村講師と相談したが、コロナの感染者数が高止まりしている状況では、講座はできるとしてもグループ活動は密になる要素が多いので難しいのでは、というご意見をいただいた。ゴールデンウィーク後の状況もあるので、直前の判断になると思うが、講座とグループ活動を分けて、グループ活動については希望者だけでやるようかと考えている。もし、グループ活動ができない場合は、第7回のグループ活動の発表ができなくなるので、どうするか考えなければならない。グループ活動がなくなると「かんきょう塾」にならない。かんきょう塾は話を聞くだけでなく参加者が自ら考え行動することで問題解決につながるような人材を育てる意味もある。以前はこのような活動ができていたが、コロナにより多くの人の生活スタイル、考えが変わってきて

環境に興味が薄れている。第1回の講師はグループ活動などの実践指導など
もできる方なので、講座の後に講師を囲んでフリートークの時間を設け、話
をしていく中でグループ活動に向けた素地を作れないか。また、各回でも参
加者が考えを共有できるような場を作るとか、去年は最終回に参加者と講師
で自由に話す時間を作り何人かの方がいろいろな意見を述べていた。この1
1人が最後まで残るかわからないので、毎回講座の募集をすることで人数が
減らないようにしたい。毎回、メール配信をし、会場では全回の案内を配布
して参加人数の減少を抑えたい。「修了証」はどうするのか。各回で参加確
認証のようなものを渡して、最終回でその枚数によってそれぞれのレベルの
証書を渡したらどうか。何を渡すのか、最後に誰がどのレベルなるのか、最
後の回に来られない人はどうするか、ほかにも事務的な作業が繁雑である。
さらに検討が必要である。メール配信の送り先となる人はどのような人か。
市のメール配信に登録している方で1万人を超える方が登録している。今
は、新聞を取っていない人が多く全世帯の4割程度しか広報を見ていない。
メールの方が必ず見る。これからもメール配信を行う。ホームページに講座
等のお知らせを出す時にメール配信について案内をしておく登録する方が
増えるのではないかな。

② 令和4年度の活動センター事業

令和4年度活動センター事業一覧の説明。ここで日程など確定したものが少
しあり変更している。8月に浅間山で冬に開催した森キッズドングリのフォロ
ーする回を予定している。浅間山については、ここで開催されるキスゲフェス
ティバルの内容がいつもより縮小されたものとなっているため、秋の森キッズ
もどこまで実施できるか心配なところである。これらについては、公園を管理
している西武・武蔵野パートナーズをはじめ、関連団体の浅間山自然保護会、
環境政策課自然保護係などと調整して開催に向けて進めていく。

3 その他

・配布資料について

活動センターだより41号が発行された。この2ページは、森キッズドングリ
de森づくりの参加者の感想文などを紹介している。3ページは、環境審議委員会
から市長へ答申を渡した記事で、この時、表委員から市長に活動センターこと
についてもお話しいただいている。その他のチラシは桜まつりで配布したものであ
る。

・その他

- ・環境審議委員会答申時の補足ですが、内容は活動センターのスペースについて

話をした。しかし反応は今ひとつであった。市では活動センターの現状は機能しているのではないかとみているようだが、これまでの10年間、120回以上会議を重ね話してきたが、その議論はどのようになっているのか。このまま進んでいきそう状況である。

- ・ 検討委員会では八王子市、日野市の施設を見ているのでスペース等の確保が今後の活動を大きく進め動きが良くなることを知っている。しかし、市長からはゼロカーボンの話を進めてほしいと言われた。
- ・ 環境審議会の会議の中で活動センターの役割についていろいろと出ているが活動センターのスペースを確保することはできないか。スペースについては事務局でも検討しているが、適切な場所がなかなかない。今年度でなくなってしまうので急ぎ庁内の関係各所と調整をしている。活動センターの開設当初、第2庁舎の仮の場所ということで適切なあり方や場所について何年も検討してきたが、この10年の話し合いも審議会の話もただの会議で「会議は踊る」といったものでは。そうなると会議はもう不要ではないかとなる。現状では新庁舎には入れないと聞いている。では他の場所ではどうかということになるが、仮にその場所での運営はどうするのかといった場所以外のことが問題となってきたり、他の施設が優先されたり、大規模工事が必要になるなど現実的なものがなかった。府中市の環境に対する姿勢としてどこでも良いので場所をしっかりと確保し活動センターの環境パートナーシップによる環境活動・支援・啓発をできるようにして、いろいろな団体が活動できるようにすべきである。もし、活動センターの役割を業者などにさせるようなことになれば、市民の声が届かず業者と市民の対立を招く。こういった対立のクッションとなることも活動センターの役割があるのではないか。今は、各セクションの横のつながりが少なくあまり良い形ではない。活動センターは、このような行政の縦割りの中で動くのではなく、独立してNGOやいろいろな人たちと運営ができるようにしたい。
- ・ 事務局が言うとおりの条件が2つあり、一つは新庁舎のタイミング。これはほぼ可能性がゼロ。もう一つは大きな枠で市の施設の見直しの中で絶対に必要であるものとなる。これも順位の中では最後の方になっていると思われる。例えば文化センターにある空きスペースの活用は検討できないか。文化センター、他の施設についても確認しているが利用できる状況ではない。仮に、どこかの施設に入れたとしても、建物の耐用年数の関係で一時的なもので、すぐに次の移転先を探さなければならない。これでは根本的な解決にならないので、長期的にどのようにするのか、あるべきかを踏まえて検討が必要である。次回の会議の中で事務局の考えを示していきたいと考えている。これは、スペースのことだけを検討してもすぐに同じ問題が発生するので、活動センターの運営、活動内容などについて、これからの時代を念頭に改めて検討するため時間が必要と考えている。

- ・活動センターの必要性を市民に見える形でいろいろな要素を含め進めないと実施できないと思うが、基地跡地の計画の中に入れてもらい移転することができないか。このようなことも考えられないか。このためにも、活動センターの必要性や重要な役割など写真・イラストなどを使いわかりやすい資料を作り話ができないか。
- ・かんきょう塾ネットでは中央文化センターの自主グループの登録をしている。現在、100を超える団体が登録しているが、環境に関係した団体は当会の1つだけである。音楽、スポーツ、文化芸術といった団体ばかりである。府中市の中で環境系団体のPRが不足しているのではないか。もう一度、なぜ市民団体が必要なのかというPRができないか。府中市民は「〇〇まつり」というとすぐに集まるが、「環境」だけでは人が集まらない。我々も地球温暖化や子どもの環境教育などのPRや何かしないとさらに市民が離れてしまう。
- ・府中かんきょう市民の会では、市民が参加しやすいようにシキイを低くするようなことを考え実行している。
- ・次回は、活動センターのあり方検討資料をそしゃくしていただき担当課としてどのように思っているのかをこの会に投げかけていただきたい。課内で検討して次回に話せるようにしたいと考えている。この件は、委員の皆さんに検討していただきながら進めていきたいのでなるべく早く出したいと考えている。

■次回開催予定日

令和4年度 第2回府中市環境保全活動センター検討調整会

(通算130回)

日 時：令和4年5月23日（月）午後2時～

場 所：本庁東庁舎8階 会議室A